



国立大学法人
筑波技術大学

障害学生支援について ～障害者高等教育拠点として～

国立大学法人 筑波技術大学
障害者高等教育研究支援センター
飯塚 潤一



筑波技術大学とは

1

1987年10月 開学 3年制の国立短期大学
聴覚障害者と視覚障害者を対象にした
単独の大学としては世界唯一

2005年10月 国立大学法人 筑波技術大学

- 産業技術学部(聴覚障害:天久保キャンパス)
- 保健科学部(視覚障害:春日キャンパス)
- 障害者高等教育研究支援センター
学内および他大学の障害学生支援

2010年4月 大学院(修士課程)を設置



支援センターの業務と拠点認定 2

聴覚障害者・視覚障害者に対して

- ・障害補償システムの開発
- ・障害者の能力開発
- ・他大学の障害学生支援
- ・教養教育の編成と実践



文部科学大臣から「教育関係共同利用拠点
(拠点名: 障害者高等教育拠点)」として認定
認定期間: 平成22年4月1日～27年3月31日



国立大学法人

筑波技術大学

聴覚障害・視覚障害
学生支援について



聴覚障害に配慮した授業

4

視覚的に理解できる方法で情報提示

- ・印刷教材
- ・手話・指文字
- ・字幕付きPC教材
- ・板書
- ・パソコン要約筆記

授業内容表示画面

教員の話した内容の
表示画面





視覚障害に配慮した授業

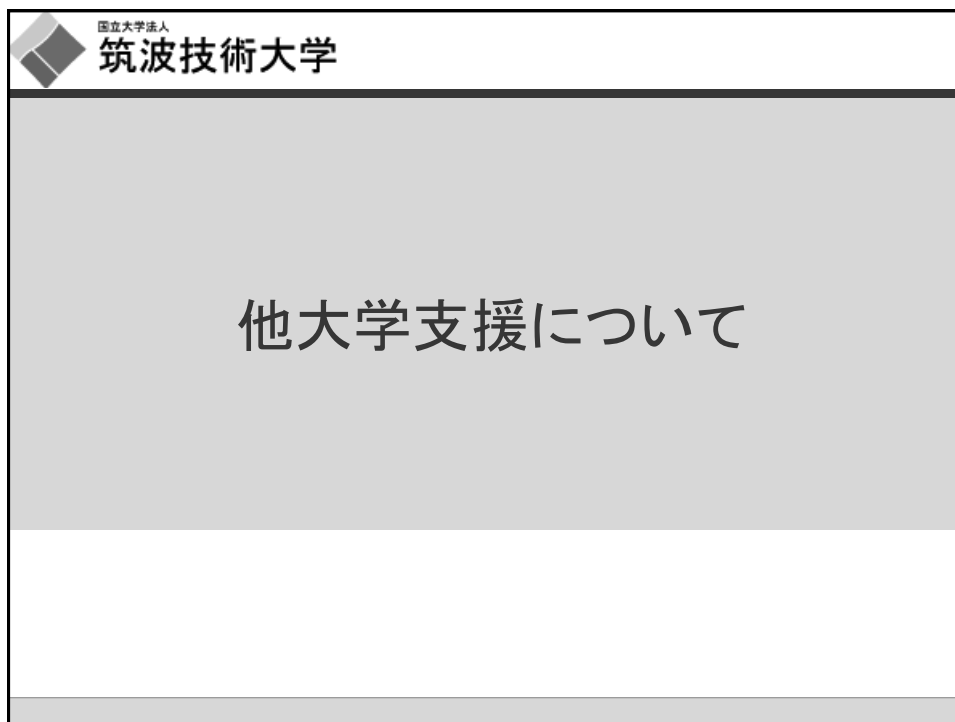
5

音声・触覚で理解できる方法で情報提示

- ・教材の拡大印刷(14,18,24ポイント)&点訳
&電子データでの提供(音声ソフト用)
- ・画像・表は口頭で説明, 指示語を使わない



例: 文庫本1冊が
電話帳サイズの
点字本3冊に。





聴覚障害：ネットワーク構築

7

聴覚障害学生支援のための
拠点形成プロジェクト(**T-TAC**)
ネットワーク形成
日本聴覚障害学生高等
教育支援ネットワーク
(**PEPNet-Japan**)





聴覚障害:情報交換・研修会

8

全国障害学生支援コーディネーター研修会 ・情報交換会



聴覚障害:相談対応

9

- ・ノートテイカーの養成・派遣
- ・予算・人材の確保
- ・支援に必要な備品購入
- ・補聴関連の情報・支援
- ・FD・SDへの講師派遣等



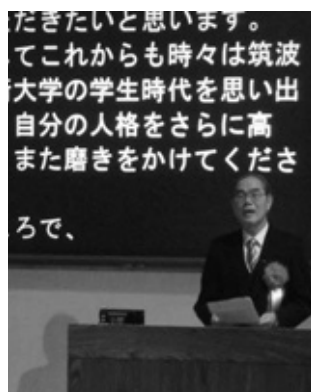


聴覚障害：情報保障支援

10

リアルタイム字幕提示システム

別の場所で入力した字幕をインターネット経由でリアルタイム送信



字幕返送



音声・動画



聴覚障害：教材・支援コンテンツ作成11

ノートテイク，支援体制構築



詳しくは WWW.PEPNet-J.org



視覚障害：情報・理数ネットワーク 12

目的：情報・理数系分野の学習資料の確保
首都圏の六つの点訳グループ
情報系：38タイトル 理数系：16タイトル



視覚障害：マルチモーダル図書制作13

視覚障害の状況に応じ「活字版，点字・触図版，音訳版，電子版」の四つの形態で提供

『天文学入門』

『韓国語点字入門』





視覚障害：触図作成研修会

14

情報・理数系の書籍で多用される図表や
グラフを触図化することができる人材育成



視覚障害：教材・支援コンテンツ作成

15

情報・理数・語学，触図など制作ガイド



詳しくは <http://www.ntut-braille-net.org/>



視覚障害：障害補償機器データベース 16

本学所有の視覚障害補償機器を他大学に貸出し、有効性を評価

- ・今年35製品を購入し235製品（国内最大規模）
- ・VISS-Net参加58校に貸出対象大学を拡大。



国立大学法人

筑波技術大学

<http://www.tsukuba-tech.ac.jp/rc/>

“情報を誰にでも、よりやさしく”

